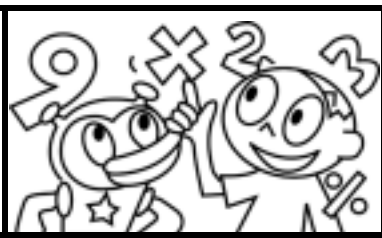


算数 学習相談		学研教育情報資料センター 小 / 算数 / 5年 / 数と計算 / 整数と小数 / 理解シート
------------	---	---

終わりに0のあるわり算で、あまりはどうして求めればいいのか

(終わりに0のあるわり算)



わられる数とわる数の0を消して筆算をしたときのあまりは、あまりに消した数だけ0をかきたせばいいんだよ。



86000÷900の筆算をして、商とあまりを求めましょう。

- ① 筆算の形にかいて、わられる数とわる数の終わりの0を2つつ消します。(これは、下の両方の100を消したのです。)

$$86000 = 860 \times \underline{100}, \quad 900 = 9 \times \underline{100}$$

- ② 終わりの0を2つつ消して、860÷9の筆算をします。

				9	5		
9	0	0)	8	6	0	0
				8	1		
				5	0		
				4	5		
				5	0	0	

あまりの5は、100の位が5つあることを表しているから、あまりは500です。あまりの5に消した0を2つつけます。

- ③ たしかめ算をして、答えをたしかめます。

$$(\text{わる数}) \times (\text{商}) + (\text{あまり}) = (\text{わられる数})$$

$$\begin{array}{ccccccc} \downarrow & & \downarrow & & \downarrow & & \downarrow \\ 900 & \times & 95 & + & 500 & = & 86000 \end{array}$$



答えが86000になるから、商とあまりは正しい。